



所長 山口直人

所長あいさつ

10月から所長に就任した山口直人です。どうぞよろしくお願いたします。私は昨年9月に北部地域療育センターに赴任し、利用される子どもたちやご家族、さまざまな専門性を持ったスタッフからこの地域のことを学んでいる最中です。所長としても療育センターとしても、皆さまにご協力いただいて少しずつ成長を続けていきたいと思っています。

最近の療育センターの成長を一部ご紹介させていただきます。

- 子どもたち一人一人の成長はこの場では書ききれませんが、たくさんの成長の姿が見られています。診察室ではスタッフやご家族のお話からも成長を伺ってうれしく感じています。
- 1階保育室の床と壁紙を張り替え、今年度はリニューアルされた保育室で活動しています。子どもたちに楽しんでもらえたらうれしいです。
- 屋上にある変電設備(キュービクル)の更新(数十年ぶり)がありました。成長には怪我がつきものとよく言いますが、工事車両の重さで駐車場が一部陥没…子どもたちやご家族、スタッフの怪我にはならず良かったです。
- 新型コロナウイルス感染症への対策から、たくさんの活動に制限が必要でしたが、少しずつ新しい形で再開しています。今後も状況に合わせての対応となりますが、引き続きご協力をお願いいたします。
- 各部署、新しいスタッフを迎えています。慣れずにお手数をおかけすることもあります。皆さまのご協力をいただいて少しずつ一緒に成長していきたいと思っています。
- 川崎市・国全体の制度や手続きの更新がたくさん続いています(セルフプラン、子ども発達・相談センター、医療的ケアの対応など)。変化を様々なニーズに応えられる成長とするべく、行政や他療育センターとの連携も引き続き深めていきたいと思っています。

そして、成長には特別な取り組み以上に土台が重要です。例えば子どもたちでは、安心安全な衣食住と生活リズム・自分の発信に周囲の大人から温かく応えてもらうこと・新しいものに出会う経験などが、そこそこ揃うこと(完璧に、ではなく)が挙げられます。療育センターの支援の土台である理念は「障害のある子どもに対する「人生(存在)」への支援・援助」です。子どもたちが特別で貴重な一人一人であることを慈しむ気持ちや、子どもたち一人一人の願いに寄り添うような視点を、施設全体で引き続き大事にしていきたいと考えています。

通園部

運動会を開催しました!!

たおすぞー

どれたー!!

よーいどん!!



プログラム

- 1 体操
～げんきげんきマーチ～
- 2 かけっこ
- 3 障害物走

令和4年10月18日に通園クラスの行事「運動会」が開催されました。お天気は曇り模様でしたが子ども達の元気な声が響き渡り会場の雰囲気は晴模様でした! この日の為に練習をたくさんしてきた子ども達。赤組白組に分かれ、それぞれの色のTシャツを着て一致団結! 体操(ダンス)から始まり、かけっこや障害物競走など一生懸命取り組みました。お父さん、お母さん、僕たちの姿見てくれたかな?